

旧小川小跡地周辺地域再整備基本計画〔概要版〕

1. 計画の背景

旧小川小跡地周辺地域とは、旧小川小学校、旧小川幼稚園、旧防衛協会茨城出張所、小川公民館、小川図書館・資料館、第6分団消防機庫（大町）の周辺を指します。（全体敷地面積は、約32,000㎡）

本市の公共施設の今後40年間の方向性を定めた「小美玉市公共施設建築物系個別施設計画」では、旧小川小学校校舎・旧小川幼稚園・旧防衛協会茨城出張所・小川公民館・第6分団消防機庫（大町）が10年以内に解体予定となっています。

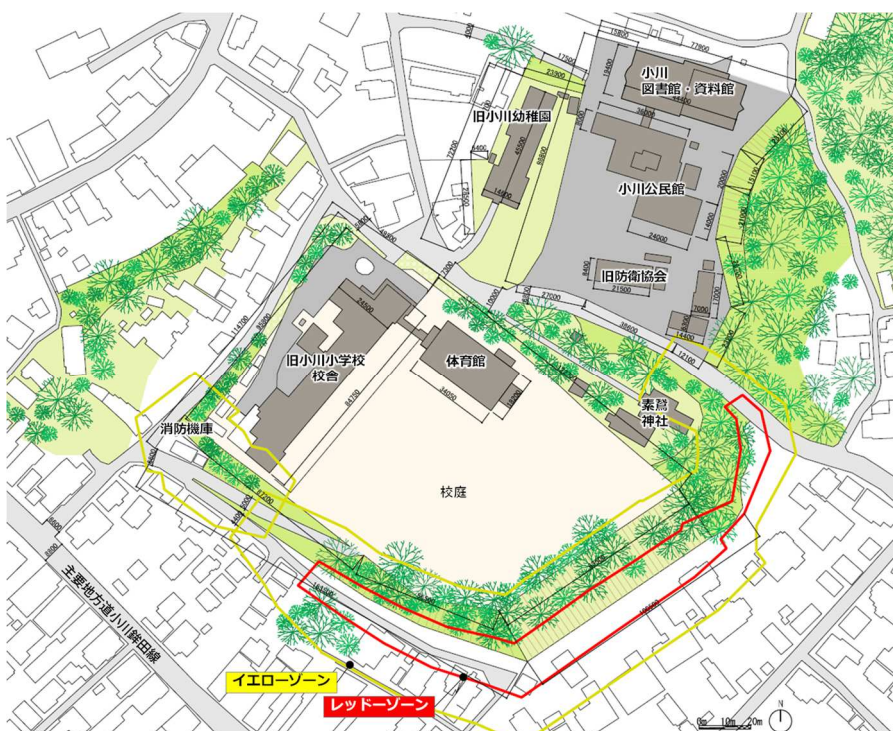
そこで、跡地の利活用と既存の小川図書館・資料館の活性化も考慮しつつ、各施設解体後の周辺跡地の有効活用を図るため、施設・土地の一体的な再整備を実施します。

再整備基本計画策定は、再整備に関する基本的な考え方や整備内容など、旧小川小跡地周辺地域にふさわしい施設整備の在り方を示すことを目的とします。

計画策定の経緯として、旧小川小跡地周辺地域再整備検討委員会（学識経験者・議会代表・地域代表・関係団体代表等）を設置し、委員会4回及び住民説明会を開催し、さまざまな意見を整理検討しながら基本計画を策定いたしました。

2. 計画地の概要

NO	名称	延床面積 (㎡)	建築年度 (年度)	経過 年数	構造 (主たる建物)	耐震安全性			備考
						基準	診断	補強	
1	旧小川小学校(校舎)	3,475	昭和44	52	RC造	旧耐震	済	済	H31年3月閉校
2	旧小川小学校(体育館)	733	昭和47	49	S造	旧耐震	済	済	
3	旧小川幼稚園	514	昭和47	49	RC造	旧耐震	未		H21年3月閉園
4	旧防衛協会茨城出張所	144	昭和43	53	CB造	旧耐震	未		H24年度閉鎖
5	小川公民館	1,268	昭和47	49	RC造	旧耐震	未		
6	小川図書館・資料館	867	平成3	30	RC造	新耐震	—	—	
		490							
7	第6分団消防機庫(大町)	50	昭和61	35	S造	新耐震	—	—	



各施設は、築30年以上が経過しており経年変化による建物の老朽化、劣化が進んでいます。また、旧小川小校舎・校庭の一部及び第6分団消防機庫の敷地が土地災害防止法に規定される土砂災害特別警戒区域（レッドゾーン）・土砂災害警戒区域（イエローゾーン）に該当しているため、急傾斜地解消が必要となります。

3. 基本方針

検討委員会において、旧小川小跡地周辺地域が、これからどのような場所を目指すのかを整理し、再整備に向けた基本方針と基本コンセプトを以下のとおり決めました。

① 歴史と文化の特性を活かした地域交流の場

- ◎ 小川城跡が所在するこの地に残る小川稽医館の碑，素鷲神社，小川資料館展示品等のレガシーをつなげることにより，小川の歴史や文化を学ぶことができる場所を目指します。
- ◎ 市民の憩いの空間を創出することにより，笑顔あふれるにぎわいのある地域交流の場所を目指します。

② 既存施設，既存敷地の有効活用により新たな価値を創出する場

- ◎ 旧小川小学校校庭を有効活用し，4つのひろば（ふれあい・多目的・健康・ピクニック）で構成する公園をつくり，市民の憩いの場所を目指します。
- ◎ 小川図書館・資料館と（仮称）生涯学習交流施設が連携を図り，人があつまる・まなぶ・つながる（ネットワークの充実）ことができる場所を目指します。
- ◎ 屋外のオープンスペース等の有効活用により，滞在場所を確保することで，新たな価値を創出する場所を目指します。

③ 安全・安心で人にやさしい快適な場

- ◎ 災害に備え避難場所として活用できる場所を目指します。
- ◎ バリアフリー，ユニバーサルデザイン対応により，誰もが利用しやすい快適な場所を目指します。
- ◎ 急傾斜地解消の促進により，より一層の安全安心な場所を目指します。

3つの基本的な方針を勘案し，再整備の基本コンセプトを下記とします。

基本コンセプト

『歴史と文化の香る にぎわいのある地域交流の場の創出』

4. 再整備事業（案）

◆全体配置案



- 校庭は交流ゾーンと位置づけ遊具・健康器具を配置するなど公園として整備し、散策等を通して交流できる空間を計画。また、災害に備えた防災ベンチ(非常時にはかまどとして使用)を設置する計画。
- 記念碑付近を歴史ゾーンとし、サインを設け小川の歴史を学ぶことができる空間を計画。
- 体育館は校庭の有効面積を確保するため除却し、校庭を有効活用する。
- 公民館跡地に（仮称）生涯学習交流施設（約 400 m²）を整備し、会合・学習・サークル活動等で活用できる空間を計画。
- 図書館・資料館前は、デッキと芝生の屋外テラスを整備し、（仮称）生涯学習交流施設と一体的に活用する。
- 旧幼稚園跡地に第1駐車場、校舎跡地に第2駐車場、防衛協会跡地に第3駐車場を整備。
- アクセス道路の整備。

注1：外灯・ベンチは位置が分かりやすいよう実物より大きく表現しています。

注2：本プラン案は、主な機能を具体的に配置するためのイメージでこの案を確定するものではありません。

また建築基準法、消防法等関係法令等に準じて変わることがあります。

◆ 地域の人々がゆったり過ごすことができる、平屋の交流スペース

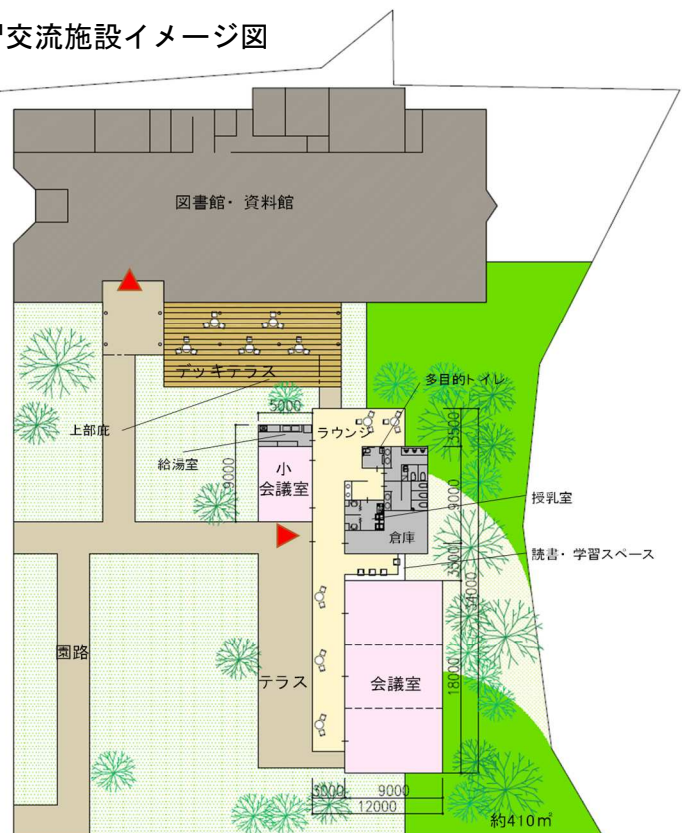
- ・（仮称）生涯学習交流施設は、大きな屋根に覆われた平屋建てとし、屋外テラスに対して開かれた施設として計画。
- ・施設は間仕切りで広さが調整できる会議室と自由に休憩できるラウンジ、小会議室等を整備する。
- ・間仕切りを取り外せば広く一体利用できる会議室は、講座やさまざまなサークルの活動や集会のスペースとして活用。小さく仕切れば、ちょっとした会合をはじめ、子どもたちの学習スペース等に利用できる。
- ・テラスにも休憩スペースを用意し、ランチや休憩等に活用できる。
- ・Wi-Fi環境を整備し、読書や学習に利用できるスペースを計画。
- ・（仮称）生涯学習交流施設の整備とあわせて、図書館・資料館の正面玄関をテラスに面した位置に改修する。

（仮称）生涯学習交流施設イメージ図



施設外観イメージ

- ・会議室_54×3=162㎡
(1室定員_42人)
間仕切りを取って多目的ホールへ
(約100人収容)
- ・小会議室_35㎡
- ・給湯室_約10㎡程度
- ・倉庫_30㎡



5. 事業計画に向けて

- ①管理運営・・・管理運営方法は直営・指定管理者・民間など、施設・土地の一体的な活用のために、より適した管理運営について今後検討を進めていきます。
- ②概算事業費・・・約8億5千万円（調査・設計費，解体工事，造成工事，建設工事等）
※事業費は設計作業前の概算額であり，今後の基本設計・実施設計の段階で具体的に事業費を算出します。
- ③整備スケジュール・・・再整備事業（案）を具現化していくため，財源確保や各種調査・調整，各種工事を行い，10年以内に供用開始する予定で整備を進めてまいります。